



<http://opal.ecis.nagoya-u.ac.jp/~jems/hosokyoku/hosokyoku.html>

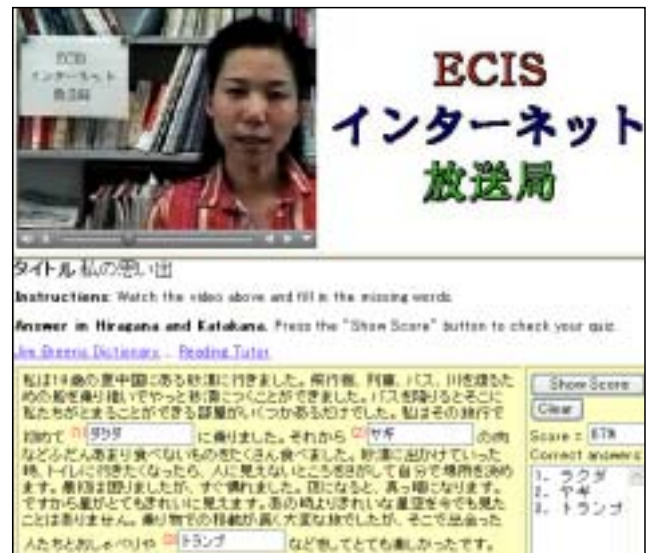
インターネットの便利な点の一つは、海外の出来事がすぐにわかることです。しかし日本のテレビ局のwebサイトで見られるニュース映像のほとんどは、ことばが難しい、音楽が入っていることばが聞き取りにくい、スクリプトがない、昔のニュースがすぐなくなるなど、聴解日本語教材としては不便です。そこで名古屋大学留学生センターの「インターネット放送局」を紹介し、トップページで「Go to programmes」をクリックすると、全部のニュースのタイトルが見られます。ここでは毎週1回、初級・中級・上級の3つの新しいニュースがアップされます。内容はそのとき日本で話題になっている事件や、年中行事などが中心ですが、「私の1日」「私の家族」など初級ですぐに使えるものもあります。

見たいニュースを選ぶと、朗読している人の映像を見ながらニュースが聞けます。ビデオはサイズが小さいQuickTime用と、音がきれいなRealPlayer用の2つの種類が用意されていて、どちらのソフトも無料でダウンロードできます。QuickTime がインストールされていれば、次のようなボタン  が出るので、 をクリックするとビデオが始まります。また「Show text with video」をクリックするとスクリプトが読めます。オンライン辞書へのリンクがついているので、難しいことばの意味や読み方をすぐに調べられます。「Gap filling exercise」は穴埋め問題で、スクリプトの開いているところにことばを入れる練習です。答えが正しいかどうか、かんたんな評価もしてくれます。

みなさんのコースで「インターネット放送局」を使う場合、教室で聞かせる方法と、学習者が自宅やコンピュータ室などで自習する方法があります。インターネットに詳しい人なら、スクリプトやビデオだけを学生に見せて、課題を出すこともできます。教室にコンピュータがなかったら、テープレコーダーに録音して教室でスクリプトや穴埋め問題を印刷して配って、そ

れを使ってタスクを出すという使い方があります。

いくつかタスクの例を紹介します。第19週の初級「私の思い出」を聞く前に、「旅行、中国、砂漠、乗り物」などのキーワードを見て内容を想像します。それから聞いた後ですぐ、内容がわかったか確認する問題に答えて、できなければもう一度聞きます。最後に学習者が自分の旅行の思い出を話したり書いたりします。また、聞く前に穴の開いたスクリプトを読んで、 に入ることばを考えるのもおもしろいでしょう。



第17週の上級「電力不足」は、原子力発電所の停止によって電力不足の心配があるので、節電の目的で「でんき予報」という広報を始めたという内容です。上級のクラスなら、背景を調べてから、原子力発電の利用について短いイベント活動ができます。また同じニュースでも、自分たちで「〇〇予報」(例: きょう1日どれくらい元気かわかる「げんき予報」など)を考えて説明するというタスクなら、中級や初級の授業でも使えます。

みなさんもクラスのレベルや目的に合わせてタスクを考えて使ってみてください。インターネットを使った聴解練習の例は、Randall's ESL Cyber Listening Labという英語学習者用のサイト (<http://esl-lab.com/>) が参考になります。